

平成30年10月30日  
愛媛大学

## 平成30年度防災・日本再生シンポジウム 南海トラフ巨大地震から地域を守る ～防災人材育成と事前復興デザインへの取り組み～ を開催します

7年前には、千年に一度とも言われている規模の東日本大震災が発生しました。  
また、今年に入っても日本が自然災害の多発期に入ったかの如く、豪雨災害、猛暑、台風災害、地震災害と自然災害が頻発しています。  
今後発生が予想される自然災害の中でも南海トラフ巨大地震は、その被災規模において群を抜いており、想定被災額は220兆円にも上り、GDP500兆円強の日本を滅ぼしかねません。そのため、私たちが、事前に復興デザインを考えておくことは極めて重要です。  
本シンポジウムでは、その事前復興デザインについて、皆さんとともに考えたいと思います。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

### 記

日 時：平成30年11月13日（火） 13:10～17:00（受付12:30～）

場 所：愛媛大学南加記念ホール（松山市文京町3番）

対 象：一般の方

定 員：200名

参 加 費：無料

備 考：内容、申込方法等の詳細については、別添をご覧ください。

※送付資料2枚（本紙を含む）

#### 本件に関する問い合わせ先

##### <参加申込・取材について>

社会連携課地域創成・防災チーム 若宮・泉  
Mail: kensien@stu.ehime-u.ac.jp TEL: 089-927-8974

##### <シンポジウムの内容について>

防災情報研究センター・特命教授 矢田部  
Mail: yatabe.ryuichi.mu@ehime-u.ac.jp TEL: 089-927-8141

# 平成 30 年度防災・日本再生シンポジウム

## 南海トラフ巨大地震から地域を守る

### ～防災人材育成と事前復興デザインへの取り組み～

7年前には、千年に一度とも言われている規模の東日本大震災が発生しました。

また、今年に入っても日本が自然災害の多発期に入ったかの如く、豪雨災害、猛暑、台風災害、地震災害と自然災害が頻発しています。

今後発生が予想される自然災害の中でも南海トラフ巨大地震は、その被災規模において群を抜いており、想定被災額は220兆円にも上り、GDP500兆円強の日本を滅ぼしかねません。そのために、私たちが、事前に復興デザインを考えておくことは極めて重要です。

本シンポジウムでは、その事前復興デザインについて、皆さんとともに考えたいと思います。  
多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。

- |   |             |   |                                 |
|---|-------------|---|---------------------------------|
| 1 | 日 時         | 平成 30 年 11 月 13 日 (火)   | 13:10~17:00 (受付 12:30~)         |
| 2 | 場 所         | 愛媛大学南加記念ホール (松山市文京町3番)  |                                 |
| 3 | 定 員         | 200 名   |                                 |
| 4 | 次 第         |   |                                 |
|   | 13:10~13:20 | 開会挨拶  | 防災情報研究センター長 森脇 亮                |
|   | 13:20~14:00 | 基調講演「西日本豪雨災害を考える 人材育成と復興計画づくりの視点から」   | 東京大学大学院工学系研究科教授 羽藤 英二           |
|   | 14:00~15:20 | 事例報告  |                                 |
|   |             | (1) ましきラボから考える熊本復興  | 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授 円山 琢也 |
|   |             | (2) 小高復興デザインセンターと大槌復興支援の取り組み  | 東京大学リサーチアドミニストレーター 萩原 拓也        |
|   |             | (3) ネパール国際復興支援の現場   | 東京大学大学院工学系研究科助教 井本 佐保里          |
|   |             | (4) 愛媛における平成 30 年 7 月豪雨災害と復興  | 愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮            |
|   | 15:30~16:50 | パネルディスカッション「災害復興の現場から考える」   |                                 |
|   |             | コーディネーター  | 矢田部 龍一                          |
|   |             | パネリスト   | 羽藤 英二、円山 琢也、萩原 拓也、井本 佐保里、森脇 亮   |
|   | 16:50~17:00 | 閉会挨拶  | 防災情報研究センター副センター長 吉井 稔雄          |
| 5 | 申込方法        | 平成 30 年 11 月 7 日 (水) までに、下記担当までメールでお申し込みください。   |                                 |
| 6 | 主 催         | 国立大学法人愛媛大学  |                                 |
| 7 | 共 催         | 一般社団法人国立大学協会  |                                 |
| 8 | そ の 他       | (1) 本シンポジウムは、本学の代理申請により土木施工管理技士会の継続学習制度 CPDS の単位申請を行う <b>予定</b> です。カードリーダーでの履修申請を行いますので、技士会の CPDS 技術者証 (磁気帯カード) をご持参ください。 |                                 |
|   |             | (2) 学内の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。  |                                 |

#### 【担 当】

##### ①参加申込

愛媛大学社会連携課地域創成・防災チーム 若宮・泉

Mail : kensien@stu.ehime-u.ac.jp TEL : 089-927-8974

##### ②シンポジウムの内容

愛媛大学防災情報研究センター・特命教授 矢田部

Mail : yatabe.ryuichi.mu@ehime-u.ac.jp TEL : 089-927-8141